

立花生徒会新聞

Trefleの通信



赤い羽根共同募金

今日から十一月二日まで
の四日間、赤い羽根共同募
金を実施します。

赤い羽根共同募金は一九
四七年に始まり、七十以
上の歴史を持ちます。第二
次世界大戦後の復興を支
えるため「国民助け合い運動」
の一環として始まりまし
た。当初は、戦争で家や家
族を失った子どもたちのた
めに寄付が役立てられまし
た。戦後、誰もが苦しい生
活でしたが、五億円を超え
る寄付が集まったそうで
す。

では、現在ほどのような
ことに使われているのでし
ょうか。集まった募金の約
七割は、募金を集めた地域
で使われ、残りの約三割は
地域を越えて各都道府県で
使われています。つまり、
私たちの住む尼崎で、助け
が必要なたちのために使
われるのです。みんなが暮
らしやすくなるお手伝いを
するために、みんなで少し
ずつ助け合う、それが「赤
い羽根共同募金」です。ま
た、助けが必要な人たちの
ために、様々なボランティア
ア団体が活動しています。
活動に必要な費用を一人
出すのは大変なことです

が、みんなで少しずつ寄付
をすれば、多くの人が活動
に参加することができま
す。「赤い羽根共同募金」の
つかいみち」は尼崎市の
ホームページに掲載され
ています。子どもたちの安
全、高齢者の日常的な生活
支援、障害者の社会参加、
防災の町づくりなど、地域
の様々な課題解決のための
活動に役立てられています。
とここで、みなさんはな
ぜ羽の色が赤いか知ってい
ますか。赤い羽根は世界中
で正義と勇気の象徴として
用いられていたことによ
りしていられたといわれてい
ます。「自分たちの町を良く
する」という赤い羽根共同
募金の理念に共感した人
自分たちのできる範囲で、
少しでもかまいません。募
金にご協力よろしくお願
いします。一人一人では小
さいことかもしれませんが、
日本全国、様々な場所で募
金活動が行われます。それ
が集まることで、とても大き
なものになるはずですよ。思
いの心を持って、募金に
参加してください。みなさ
んの小さな優しさがきつと
大きな幸せに変わります。

文化発表会

十月二十六日に文化発表
会が行われました。今年度
の合唱コンクールでは自由
曲と課題曲の二曲を歌いま
した。今年から二曲という
ことで限られた時間のみの
練習でしたが、クラスで一
丸となって協力することで
素晴らしい合唱を生み出せ
たと思います。また、合唱
だけではなく人権作文、英
語スピーチ・暗唱、演劇、
有志ステージ、吹奏楽部に
よる演奏がありました。こ

れまでの練習で培ってきた
ことを十分に発揮できたこ
とと思います。ここでの経
験は必ず今後の学校生活に
つながるはずです。なので、
文化発表会で経験したこと
を忘れず将来へと活かして
いきましょう。

今年度の生徒会スローガ
ン「踏み出せ 新しい一歩」
ではあきらめず、前に進ん
でいくことが大切という意
味が含まれています。合
唱コンクールで合唱した各
とて言いましたが、みなさ
んはなぜ復習することが大
切なのか知っていますか。
人間は一度見たり、聞いた
り、書いたりするだけでは
完璧に物事を覚えられませ
ん。覚えられたとしても一
日も経たない内に忘れてし
まいます。しかし覚えるた
めの動作(見る、聞く、書
く)を繰り返すことで忘れ
にくくなります。脳は寝て
いる間に一日の内に勉強し
たことや体験したことなど
の情報を整理を行い、記憶と

中間テスト

今月の三日、四日に中間
テストがありました。日頃
の勉強の成果を十分に発揮
することはできたでしょう
か。今回のテストには二学
期に習った単元だけでなく、
夏休み前に習った単元
も出題されました。「あま
り上手くいかなかった」と
いう人も少なからずいると
思います。そんな人には
毎日復習をしっかりと
し、勉強方法を改善するこ
とをおすすめします。
先ほど復習を毎日するこ

して残していきます。一つ
のことに対して、この情報
整理の回数が増ければ多い
ほど、記憶に深く残ります。
今まで習ったことを全て復
習することが一番良いです
が、少し難しいと思う人は
まずは苦手を教科や、難し
かった単元の問題を毎日解
くことから始めてみてください。
とここで、みなさんは野
球の試合でキャッチャーが
使っているミットに注目し
てみてください。ミットには
何色か使われています。
色がよく使われているで
しょうか。答えは茶色や黒
色、そして青色です。青色
には気持ち落ち着かせ、

いてくれました。文化発表
会が成功したのはもちろん
自分たちの頑張りもありま
すが、それに加えて陰で支
えてくれた委員会や係、指
導をしてくださった先生な
どたくさんの方々の
おかげだと思ひます。なの
で感謝の気持ちを忘れず、
生活していきましょう。

読書の秋

十月ということで暑さも
和らぎ、過ごしやす季節
となってきました。そこで
今回は、この過ごしやす
季節にすることの一つに、
読書をおすすめしたいと思
います。

秋は読書をするのにびつ
たりな季節です。「読書の
秋」という言葉もあるよう
に、暑すぎず、寒すぎない
秋の気温が集中して読書
するのに適しています。ま
た、「読書の秋」のイメ
ジの元となったのは、古代
中国の韓愈(かんゆ)が読
んだ「灯火親しむべし」と
いう詩だといわれています。
この詩は、秋の夜長は
灯りをつけての読書に適し
ている、という意味です。
こんなにも古くから人は秋
に読書をしてきたのだと思
うと、自分も読書をしてみ
たくなってきましたか。

また、立花中学校にはと
ても魅力的な図書室があり
ます。みなさんは入学して
から図書室に入ったことは
ありますか。本校が自慢で
あることの一つに図書室の
本の豊富さが挙げられま
す。図書室には小説や図鑑、
歴史漫画、資料集などたく
さんの本があります。もし、
図書室に読みたい本が無い
時は、本の購入をリクエス
トすることが出来ます。本
のリクエストをしたいとき
は、カウスターにあるリク
エストBOXに購入してほ
しい本を書いた用紙を入れ
るか図書委員までお願いし
ます。また図書委員会では
各学年の下駄箱に先生方
おすすめ本の紹介カードを
掲示しています。そして、
今年度の文化発表会では、
図書委員が自分のおすすめ
した紹介カードを掲示しま
した。どの本も図書室に置
いてあるものなので、気
になった人はぜひ図書室に探
しに来てみてください。ど
んな本を読めば良いのか分
からないという人は、先生
方や友達のおすすめ本を読
んでみるのも良いかもしれ
ません。
また、十月二十七日から
十一月八日まで読書週間
になっています。どんな本
でも良いのです。まずは自
分の気になった本を一冊手
に取り、表紙をめくってみ
てください。読書のしやす
いこの季節に、普段あまり
本を読まないという人も読
書に挑戦してみたいかが
でしょうか。

編集後記

秋と言えば食欲の秋です
ね。ところでみなさんは「き
のこの山」と「たけのこ
のこの山」とどちらが好きですか。
執行部では、きのこの山
派が4人、たけのこの山
派が4人と五分五分でした。
美味しいお菓子を食べて一
息ついたら、勉強に戻りま
しょう。食べ、勉強は良くな
いのほどほどに。(立小
川・上杉・藤田・西村)